

|   |  |          |         |  |  |  |
|---|--|----------|---------|--|--|--|
| C133  | 文学概論 2   |          |         |  |  |  |
| 英名科目名   | Introduction to Literature 2   |          |         |  |  |  |
| 大学名   | 佛教大学   |          |         |  |  |  |
| 連絡先   | 学生支援課<br>TEL 075-491-2141(代)   |          |         |  |  |  |
| 担当教員  | 有田 和臣(日本文学科教授)   |          |         |  |  |  |
| 開講期間  | 2021年09月20日(月)~2022年02月10日(木)<br>3講時 12時50分~14時20分(毎週木曜日)<br>最終週は定期試験週<br><br>なお、以下の日程は授業日ではありませんので注意してください。<br>2021年9月23日(木・祝)<br>秋分の日の為<br>2021年11月1日(月)~11月3日(水)<br>学園祭開催の為<br>2021年11月23日(火)~11月25日(木)<br>公募制推薦入試の為<br>2021年12月24日(金)~2022年1月7日(金)<br>年末年始休暇の為<br>2022年1月10日(月・祝)<br>成人の日の為<br>2022年1月14日(金)<br>大学入学共通テスト準備の為<br>2022年2月1日(火)~2月3日(木)<br>一般入試A日程の為 |          |         |  |  |  |
| 開講形態  | 後期・秋学期   | 開講曜日・講時  | 木曜日 3講時 |  |  |  |
| 単位数   | 2  | 履修年次     | 2年次以上   |  |  |  |
| 会場  | 紫野キャンパス  |          |         |  |  |  |
| 授業定員  |  |          |         |  |  |  |
| 単位互換生定員   | 10   | 京カレッジ生定員 |         |  |  |  |
| 試験・評価方法   | 成績評価の基準<br>・定期試験(課題) 30%<br>課題への的確な説明と、各自の考えの独自性を評価する。<br>・授業内課題 70%<br>小リポートの提出状況によって評価する。  |          |         |  |  |  |
| 超過時の選考方法  |  |          |         |  |  |  |
| 受講料   |  |          |         |  |  |  |
| 別途負担費用  |  |          |         |  |  |  |
| その他特記事項   |  |          |         |  |  |  |
| パッケージ科目   |  |          |         |  |  |  |
| 低回生受講推奨科目   |  |          |         |  |  |  |
| 講義概要・到達目標   |  |          |         |  |  |  |
| <p><b>授業のテーマ</b><br/> <b>異世界とファンタジーアニメ</b></p> <p><b>授業の概要</b><br/>         比較文学的な視野をも含め、日本文学の特色を言語や歴史、風土とのかかわりを通して理解することをめざす。古代以来の中国文化との濃厚な関係、近代における急速な西欧化、をはじめとして、海外の文化との関係において形成、展開した日本語や日本語の文学の特質を探求する。また、今日の文学の現代を、メディア、映像、音楽、マンガ、教育などのさまざまな場面において考察し、文学の意義と課題について認識することをめざす。毎回の授業の主題に応じた課題を学生に与え、その課題の発表・提出を通して理解を深める活動も適宜実践する。</p> <p><b>授業の目的・ねらい</b><br/>         現代文芸を、実写映像、音楽、アニメーションなどさまざまなメディアにおける表現とともに考察し、その主題と表現技法を</p>   |  |          |         |  |  |  |
| <b>到達目標</b><br>現代文芸作品を分析的に読むための、以下5点の視点を理解する。<br>・文芸の表現技法の特色を理解し、文芸作品をより深く味わうことができる。<br>・文字媒体で表現されたものと、映像表現との間の相互交渉についての理解を得る。<br>・ポップ・カルチャーであるアニメが、いかに現代社会の課題と関連を持っているかについての理解を得る。<br>・現代文芸の主題について、自分なりの認識を得る。   |  |          |         |  |  |  |
| <p>・文学の意義と課題について自分なりの認識を得る。<br/>         授業時間外の学修(予習・復習等)についての具体的な指示<br/>         特定のテキストは定めないが、興味を持った作品について、自発的に参考資料を読み込んでみてほしい。</p> <p>受講にあたっての留意事項<br/>         ・文芸作品を、心のままに見流したり、読み流したりするばかりではなく、いくつかの手がかりに基づいて分析的な眼でとらえなおしてみようという姿勢をもって受講されたい。<br/>         ・授業中に適宜小リポート課題を課すので、積極的に考える姿勢をもって受講されたい。<br/>         ・授業時間を雑談、私語をして過ごす学生には単位を与えないよう努力する。検討することを通して、文学の意義と課題を探る。</p>   |  |          |         |  |  |  |
| 講義スケジュール  |  |          |         |  |  |  |
| 毎回の授業のテーマ・内容<br>第1回 概論とオリエンテーション<br>第2回 宮崎駿「千と千尋の神隠し」(2001)<br>高度経済成長と日本<br>第3回 「千と千尋の神隠し」2 ポスト・バブルの世界観<br>第4回 細田守「バケモノの子」(2015)1 世代継承と人間関係<br>第5回 「バケモノの子」2 親子とは何か<br>第6回 高畑勲「かぐや姫の物語」(2013)1 古典的主題と現代社会<br>第7回 「かぐや姫の物語」2 現代人の罪と実存<br>第8回 宮沢賢治・原作「銀河鉄道の夜」(1985)1<br>幻想世界の友人<br>第9回 「銀河鉄道の夜」2 彼岸と此岸の価値観<br>第10回 森絵都・原作「カラフル」(2010)1<br>生活世界のアイデンティティ<br>第11回 「カラフル」2 再選択される世界観<br>第12回 ソン・シンイン「幸福路のチー」(2017)1 現代人の夢<br>第13回 「幸福路のチー」(2017)2 理想の未来とは<br>第14回 総評 原作と映像化<br>第15回 総括と復習 現代日本～未来の日本をとらえる世界観 |  |          |         |  |  |  |
| 教科書   |  |          |         |  |  |  |
| 標準テキストを定めないので、興味を持った作品を各自選択して通読してもらいたい。   |  |          |         |  |  |  |
| 参考書   |  |          |         |  |  |  |
| 『サマーウォーズ(小説)』岩井恭平(角川文庫)<br>『思い出のマーニー』ジョン・ロビンソン著<br>『越前敏弥他訳(新潮文庫)』<br>『小説 君の名は。』新海誠(角川文庫)<br>『ユリイカ 2011年11月臨時増刊号』<br>総特集: 魔法少女まどか マギカ 魔法少女に花束を(ムック)』ユリイカ編集部(青土社)<br>『海獣の子供』全5巻(コミック)』五十嵐大介(小学館)  |  |          |         |  |  |  |